



## 泳げるようになりました

泳げない子どものためのB & G水泳教室が開催され、水泳の苦手な子どもが泳げるようになりました。

7月4日から7月14日までのうち8日間、有明B & G海洋センタープールで開催された同教室に市内の小学生100人が参加しました。同教室では、志布志市水泳協会に指導のご協力をいただき、習熟度別に練習メニューが用意されており、参加した児童全員が自分で立てた目標を達成しました。



## 高齢者と交流しました

ジュニアリーダークラブが特別養護老人ホーム賀寿園を訪問し、高齢者と交流しました。

6月24日、中高生15名が志布志町安楽の同園を訪問し、施設内の見学や車椅子体験、福祉車両体験を通して福祉の現場について理解を深めました。また、高齢者の方々と手をとりあって歌を歌ったり、バルーンアートを作ってプレゼントするなど、日頃の研修の成果を十分に生かして活動しました。

## 高齢者の就業に貢献しています

志布志市シルバー人材センターが全国シルバー人材センター事業協会から表彰されました。

7月6日、同センターの蔵園修理事長（写真中）と福岡勇市事務局長（写真右）が市長室を訪れ受賞を報告しました。これは、シルバー人材センター事業の法制化から30年を記念して優良団体を表彰するもので、6月22日に東京都で開催された同協会の平成29年度定時総会において表彰されました。



## 日本の古典芸能を鑑賞しました

有明中学校で芸術鑑賞教室が行われ、狂言と能を鑑賞し、狂言特有の発声などを体験しました。

6月29日、同中学校の体育館に設置された能舞台で狂言と能が上演されました。狂言「柿山伏」でユニークな猿の物まねが演じられると、事前に解説を受けていた生徒からは笑い声が起こりました。狂言の所作や発声の体験も行われ、柿の実をもいで食べる動作や大声で笑う発声を体験しました。



## 海水浴とプールの安全を祈願

ダグリ岬海水浴場海開きと遊園地プール開きが行われ、夏のレジャーの安全を祈願しました。

7月8日、ダグリ岬海水浴場において、海水浴場施設や遊園地を指定管理者として管理する(株)谷口製作所（谷口博盛社長）など関係者が出席して安全祈願の神事が行われました。海水浴場とプールは8月31日まで毎日営業し、8月26日には海水浴場でサマーフェスタも開催されます。



## 研修を終え新規就農しました

農業での自立を目指し、農業公社でピーマン生産の研修を受けた5名が2年間の研修を終了し、市内で就農しました。

7月5日、市役所本庁において修了生に修了証書が授与されました。また、新たに研修生となった22期生3名の受入式も行われました。修了生は「抜いても抜いてもキリが無い雑草と格闘し大きな台風も経験した。ピーマンを出荷できた時は嬉しかった。これからもがんばります」と抱負を話しました。

## 鉄道の歴史を後世に

志布志町SL保存会が廃線30周年を記念して「よみがえる志布志線・大隅線の歴史」を発行しました。

7月10日、同会の宮内春芳会長が市長室を訪れ、記念誌を市長に手渡しました。記念誌は市の共生・協働自立推進事業補助金を活用して、志布志線や大隅線の貴重な写真や資料と同会のこれまでの活動をまとめたもので、市役所や図書館、志布志駅の観光案内所等に配布されています。



## 夢のある元気な農業経営のために

市内で農業を営む3家族が、経営の目標、役割分担等を取り決めた家族経営協定を締結しました。

7月5日、市役所本庁において行われた家族経営協定の調印式に農業を営む3家族が参加しました。同協定は家族みんなが働きやすいように家族の話し合いに基づき取り決めるものです。参加者は「二人で話し合い、お互いの長所を経営に生かしてがんばりたい」と農業経営への意欲を話しました。

